むけて」。現場での熟練 ないま

用している施工状況把ひび割れ対策として運

対策の基本的考え方」 架設工事における安全 の大下嘉道氏は「橋梁

について細田准教授がションでは、品質向上パネルディスカッ

イコンストラクシ

クショ ア

鈴木理事長

の実現

政策総合研究所の木村

若者に対し「現場へ

じの

辰男氏は次世代を担う

受けた6工場63プラン

Ο

興味を持ち続けてほ

不足が進む中、品質と

握チェックシー

ンクリー

トの施工記録

架設計画時の留意点な 架設工法や事故事例

「品質確保されれば必

内の同学会で構造工学 出木学会は18日、都

授が「コンクリート構国立大学の細田暁准教

品質向上でセミナ

ことが大事」と語った。

氏も「指示待ちの職人

開き、

今年度下期の総

工場の減点1のみと

千葉市の

内で会議を

8のみから、

昨年度の11

工場の減点 今年度は

が増えているようだ」

指示する側を

期の監査計画などを審

台監査結果、来年度上

より状況は異なる。わけではない。現場に

た地。位向

上だと強調し

ト品質管理監査会議

葉県生コン

重倉議長はあいさつ

郎氏は、JRでのコン

JR東日本の野澤伸

向けた取組み事例を紹

総合技術研究所の緒方要性を指摘。高速道路

管理監査チェックリス 議した。全国統一品質

トに基づく総合監査を

含めた技術の伝承の

O

テーマは「土木工事の

品質と安全性の向上に

全国展開」の題で講演。

る土木学会の取組みと

造物の品質確保に関す

た。日本橋梁建設協会原や東北地方整備局の原や東北地方整備局の

(第3種郵便物認可)

ト協同組

度の出荷を前年度比息を織り込んで、今年息を織り込んで、今年

続きそうだ。金沢協組17年度も民需堅調が

ルの新設が増えている。

 \Diamond

効果もあり、

ホテ

れており、金沢地区生

生コン出荷も上振

る

再開発工事が増えてい

北陸3県

の県都で、

増の見通しを立ててい組とも横ばいないし微見込み。17年度は3協

し、観光を中心に金沢線が15年3月に開業

の宿泊需要が急増。イ

も動くもよう。隣接すり場町1番地)の再開発

國銀行の本店跡地(下

24万㎡に修正した。

期に入り0・4%増の 想定した。しかし、

7・9%減の22万㎡と

陸新幹線の開業に伴

駅前再開発工事

(訪日外国

る上堤町でも三井不動

18年度まで続くほか

货

組合は新幹線工事の工井嶺北地区生コン協同

期が遅れているもの

前年実績を上回る

方修正した。北陸新幹

期に入り43万㎡と上

発案件が動きだす。北香林坊にかけて、再開

でいる。

静岡や愛知の

神高速道路ではコンポー 海環状自動車道も一部 でコンク

東名高速道路

る需要開拓に取り組ん

が想定以上に好調で、

繁華街の武蔵が辻から 4万㎡とした。 金沢の 見通し比2・3%増の は17年度想定を16年度

コンクリ

ト舗装によ

東海の生コン組合が

で建設されている新名

据えてPRしている。 装)を普及活動の柱に

場の舗装打換え工事で

静岡では昨年度に伊

静岡市葵区

り、件数は少ないが

が採用されてお

規模は大きい。

県内に

動車関連工場が多

ンションやホテル工事

圧送協会の加入申請を

福井市御所垣内町16・在地は川端工業本社の

ている。 生 リート舗装

採用された。その後、 の発注工事で1DP

電話番号は0

以)が就いた。協会所料光宏氏(川端工業社

設立した。会長には中

全圧連にも加入

東協、平成ポンプク

トの3社。

県内に

協会員は川端工業、

鈴鹿協組が昨年10月に開いた見学会

修用として

駐車場の補

来月にかけて静岡市清 る。また、今月末から 外の用途で使用してい

水区の市道で1DPが

た保水性のある。 メントミルクを注入し ラス1DPの空隙にセ 太啓(豊田市) す。また昨年11月には、 での採用拡大を目

横展開する動きも求め

コン組合で

配合の生コンを舗装以

した業者が、1DP

DPを施

での採用拡大を目指いことから、民間工場

送協同組合があるが、

は福井コンクリ

全圧連には加入してい

リート 型コンク 期交通開放

高速道路の美合P

層の品質確保を

された。

減点ゼロは59

べてが適合と判断

千葉品監会議

東名

A 1 V D E A Y 曱 P

採用される予定だ。

同協会は昨年11月に

送事業団体連合会

全

ぞれ上方修正した。福 年度の出荷想定をそれ

想定した。しかし、マ 度の出荷を前年度比

┗協同組合は20

富山生コンクリー

した B C P

事

阪、神戸、和歌山の湾図った。山﨑氏は「大

トが集中している。(南岸地域に有力なプラン

海トラフ地震が)実際

10月に開いた研修会にた、同地区本部が昨年

グループのスピードでれている。「ワーキング

め上げたい考え。 年 度 中 に B C P を ま と

だ」と指摘する。BC 強く感じているところ

し寄せると予想さ

然災害も考慮して、来

いと混乱する。それを

よう各工組に要請。

版のBCPを作成する

よっては20m近い津波起こった場合、場所に山。南海トラフ地震が

波被害を結構受けて

家の話を聞くと、

危機感が強いのが和歌 してきたという。最も 通じて防災意識が高揚

ていた日本海側も 波被害に無縁と思わ

た。やはりこういう場

は供給能力は十

-分だっ

立の間、

九州へ出張して

強するつもりと記した。

九州へ出張していた

と考えていた。

合格後も自

そうであ

が持てなさ

客

ため、

移動

中や宿泊先

合はこう対処するとい

合せを、

災害が起

考えていたが、肝心なテのホテルで勉強すればい

る。

トを会社に忘れてしまった。

WGの会合や研修会を

災害への対応も課題と

活断層型地震や豪雨

かないから工事が遅れ

無事に上級の合格証書が届 た。それから2か月が過ぎ、 検定の上級を受検すると述べ

つまでも落ち続け

品検定」でコンクリ

昨年、11月10日付の小欄「製

される。一

が新設されたが、実際 るといわれ、プラント

度差があったものの、自然災害への備えで温

当初は地域によって

話になっている」(山﨑

きなかい離があった。

・学協会・

送

生コン供給体制も包含

治体の自然災害ハザ 生コン工場を地図上に ドマップを重ね合せ 落し込み、そこに各自 に起こったら大変なこ

トラフ地震など有

生コンの供給

被害の見える化を一を確保することが重要一 直な実感」と語る。 とになるというのが正

題で講演してもらっ 調整官を講師に迎え、

国土交通省の総括防災 ポートしていくというれとリンクする形でサ は待っていられないと してもらい、我々はそ いうことで独自に先行

震災では実際に起きて

公庁や建設を対象に、

が完成した段階で官

験当日に自宅から神田の試験

と関

ストを鞄に入れたが結局、

山﨑氏は「東日本大

えた。富山協組は当初富山も民間工事が増 産のホテルの建設計画 していくという 一界からの情報などに大 民間病院移転や民間企 業の工場設備増設など いることと、テレビ報 官公庁の発表、

い考え。

北陸新幹線工事

の発注関係者を招いて

そ半分。今年度も1 度は350万㎡とお

見学会で豊田市など

三重では三重生コン

まっており、このま年同期比85%にと

全技術研究グループか寒地土木研究所寒地保

ら上野千草研究員が 「北海道におけるコン

そうだ」としつつ

いくと過去最低にな

り除くPRを展開した生コンの供給不安を取

験に臨んだ。そのせいか、問分間、目を通しただけで、試会場までの移動時間である40

と感じている。

計画されており、17年大型工事が増えてい 増の39万㎡と想定する 想定している。 度は横ばいの24万㎡と (員外2社3工 福井地区は9・6% も 新幹線工事が本格化す る見込みで、 けん引する。17年度は

は終えているが、今後た。駅前の再開発工事 建て替えがあり、徐々 駅前正面の民間ビル 増の4万㎡と想定 2 6 %

る予定だ。北勢協組工 の施工見学会を開催す 洋セメント藤原工場 3月に北勢協組が太平 いなべ市)で1DP 組、鈴鹿協組に続き、

神高速道路の本道に

む)。民間工事だけでな 場含

えせざるを得な

いる」と述べた。

込みに関する問合せは

まで。

とし、「これらは建る の老朽化が進んで たインフラや団地な 高度成長期に建設を

されている。 大の約260 約2600㎡。赤 DPとして過去最 (上り線)でも ている。 工事での採用を要望 施工見学会を機に公共 DPが採用されて

る メント岐阜工場、ライ が開かれた実績があ ン生コン川辺工場など 岐阜でも住友大阪セ DPの施工見学会 寒冷地の白舗装学ぶ

各生コン組合の営業ノ も想定される。 動で他地域に移ること 注者、施工者が人事異施工したことがある発 ウハウなどを共有. DPを採用、 今後は コンクリー

ナーを開催する。 理事長) は2月13 連合会中央技術研究 札幌市内のホテル村 △工業組合(成田眞) セミナーでは全国 北海道生コンクロ - 卜工業組

来月13日にセミナ 北海道工組

「今年度750

00円に、文中の建設地区の値上げ額を10場下で、表中の秩父を10場で、表中の秩父の値上げに関す 立・葛飾1万1200物価の表示価格を足

研究員が「コンクロ の山之内康一郎副士 告と強度管理試験方 ト舗装推進会議活動

以東協組の岡田理事長

今年は「希」(の

と続き、今年で8. 示すのが慣例で、そ 始まり、「さらなる を新年賀詞交歓会で

ることの現れだ」と評 荷量について、「最も多 事長は県内の生コン出 に真摯に取り組んでい - 工業組合の鈴木実理

と、各工場が品質管理 なったことについて 「委員の熱心な指導 露している。「絆」から 方向性を漢字ー文字で み)。東関東生コンタ 組合は1年間の組合

千葉県生コンクリ

定した」と説明した。 年になることを願い決 本年が希望に満ちた1 年の最重要課題に あわせて「生活を守 当協組にとっても 向きに希望を持 が込められて 隣接協組が値







第19回生コン技術大会

併設パネル展示会

日時: 平成 4/13(木)・14(金) 会場:東京・大手町日経ホール









第 19 回生コン技術大会併設パネル展示会の概要

◆展示時間 9:00~17:00

※原則的には技術大会休憩時間にブース見学となります。 ※両日において短時間ですが見学時間の設定を検討しております。

【設営】平成29年4月12日(水)16:00~18:00

【撤去】平成29年4月14日(金)大会終了~20:00(完全退館) ※宅配便等での搬入出が基本となります。車両での搬入出はできません。 ※設営当日の備品の追加・修正は対応できない可能性がございますので、 あらかじめご了承下さい。

※運搬用の台車等は各自ご用意ください。

※搬入出・オプション備品等についての詳細は、後日お知らせいたします。

•机(幅180×奥行60×高さ70タン)…1本 •椅子…2脚 ・システムパネル(幅180×高さ180タン)…1 セット

・蛍光灯…1灯・社名板…1枚

※上記以外の備品及び電灯・電力使用は別途有料となります。

◆出展料 1ブース 108,000円(消費税込) ◆募集ブース 25ブース(予定)

◆ブースの配置 原則として事務局で決定させていただきます。 (小間図面は後日送付させていただきます)

◆出展資料·申込書請求

株式会社 セメント新聞社 電話03-3535-0621 株式会社 コンクリート新聞社 電話03-5363-9711

◆出展申込方法

出展申込書に必要事項記入の上、下記宛にFAXにて送付してください。 《申込書送付先》〒104-0031 東京都中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル6階 株式会社 セメント新聞社 電話03-3535-0621 FAX03-3535-5632 《出展締切》平成29年3月10日(金)

※ただし、予定ブースになり次第締切りとさせていただきます。

主催:全国生コンクリート工業組合連合会 全国生コンクリート協同組合連合会